

社会福祉学科の学び(3つのポリシー)

アドミッション・ポリシー 入学時の学生の力・求める人材像

- ①高等学校教育課程の内容を幅広く修得している。
- ②人の幸せを願い、その実現のために、人との関係を大切にしながら、さまざまな生活課題の解決を支援したいという意欲を持っている。
- ③社会で起こるさまざまな出来事と社会福祉との関連性について常日頃から関心を持ち、疑問に感じたことに対して、自ら調べ、解決に向けて取り組む習慣を身につけている。
- ④積極的に他者と関わろうとし(そうした気持ちがあり)、対話を通して相互理解に努めようとする姿勢を持っている。
- ⑤高等学校等での学習や課外活動・ボランティア活動等で、他者と協働した活動や学習の経験があり、他者と協力しながら課題をやり遂げようとする意欲を持っている。

カリキュラム・ポリシー 教育カリキュラム

教育目標を達成するために、建学の精神を根底に据えた「教養」「専門」という枠組みと、「講義」「演習」「実習」という授業形態を踏まえ、カリキュラムを構成しています。そして、それぞれの授業が相互に関連することで最大限の教育効果が発揮できるよう、体系的にカリキュラムを構成しています。

1年次	2年次	3年次	4年次
<p>ものごとの本質を見極められる教養と福祉の心を育み、社会福祉の価値と基礎的知識を理解する</p> <p>コースの選択</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 総合福祉コース ● 心理福祉コース ● 医療福祉コース ● こども福祉コース ● スポーツ福祉コース <p>資格科目</p> <p>演習I(A)・(B)</p> <p>専門科目</p> <p>教養科目</p> <p>ソーシャルワークの実践力</p>	<p>社会福祉の専門的知識・技術を修得すると同時に、行動力と対話力を身につける</p> <p>資格科目</p> <p>演習・コミュニティアワーII(A)・(B)</p> <p>専門科目</p> <p>教養科目</p> <p>ソーシャルワークとは?</p> <p>健康上や経済上などの理由により日常生活に不安や課題・問題を抱えている人などの相談を受け、最適な制度やサービス、福祉・医療機関といった社会資源を用いて問題を</p>	<p>演習と実習を通して、課題の改善・解決ができる実践力を身につける</p> <p>資格科目</p> <p>演習III(A)・(B)</p> <p>専門科目</p> <p>解決する専門的支援のひとつです。地域や行政に働きかけて、必要な地域コミュニティやサービスを開発・運営する役割もあります。</p>	<p>教養、専門性、社会性を自分自身のなかに統合することで、地域社会に貢献できる人となる</p> <p>資格科目</p> <p>演習IV(A)・(B)</p> <p>専門科目</p>

ディプロマ・ポリシー 卒業時に修得している力

- ①どのような時代が来ても、本当に大切なことを見極められる**教養と人間性**
- ②人や地域が抱えている課題を見極め、その課題を改善・解決できる**高度な専門性**
- ③身につけた教養と専門性を、地域社会の貢献に結びつける**社会性と公共性**

自分の進路に合った専門知識を身につけ、資格を取得するカリキュラム

※カリキュラムは変更となる場合があります。

科目一覧		1年次	2年次	3年次	4年次	
教養科目	人文科学系	●●●心理学概論 健康体育法 日本史 ●●心理学基礎論 人と芸術 哲学 人間関係学	運動の科学			
	社会科学系	くらしと日本国憲法 ●●●社会学 くらしと法(国際法を含む) くらしと経済(国際経済を含む) 赤穂学				
	情報語学系	国語表現法 基礎総合英語I-II 英会話 情報処理 手話(基礎) 情報科学	手話(応用)			
	人間理解の基礎	生と死の教育	臨床への宗教学 人間と宗教 スピリチュアル支援論			
キャリア形成		キャリア形成I キャリア形成II	キャリア形成III			
専門科目	社会福祉の基礎	講義科目	●●●社会福祉学原論I ●●●ソーシャルワークの基礎と専門職I・II ●●●医学知識 ●●●地域福祉論I ●●●障害者福祉論I ●●●高齢者福祉論 ●●●児童家庭福祉論	●●●ソーシャルワークの理論と方法I・II・III・IV ●●●公的扶助論 ●●●介護福祉論 ●●●社会保障論I・II	●●●社会調査論 ●●●地域福祉論II ●●●福祉サービスの組織と経営 ●●●保健医療サービス ●●●権利擁護と成年後見制度 ●●●社会福祉学原論II ●●●障害者福祉論II ●●●福祉行財政と福祉計画	●●●就労支援サービス ●●●更生保護制度
		演習科目		●●●ソーシャルワーク演習I	●●●ソーシャルワーク演習II ●●●ソーシャルワーク演習III	
		実習科目		●●●ソーシャルワーク実習指導I	●●●ソーシャルワーク実習指導II ●●●ソーシャルワーク実習	
	社会福祉の応用	●●●精神医学 ●●●発達心理学I・II ●●●社会心理学	家族社会学 地域社会学 ●●●精神保健学I・II 教育社会学 ●●●精神保健福祉に関する制度とサービス ●●●教育原理 ●●●心理測定法 ●●●精神保健福祉の理論と相談援助の展開I ●●●精神障害者の生活支援システム ●●●認知心理学I・II 国際開発と渡航医学	●●●精神保健福祉相談援助の基盤(専門) 教育方法論 福祉哲学 ●●●カウンセリング概論 ●●●精神保健福祉の理論と相談援助の展開II ●●●コミュニケーション心理学 ●●●臨床心理学I・II ●●●心理療法	●●●スクールソーシャルワーク論	
		総合福祉	●●●ボランティア論	●●●ジュニアスポーツ指導法I ●●●障がい者スポーツ指導法 老年医学 ●●●教育心理学 ●●●スポーツ文化 ●●●スポーツ指導論 ●●●スポーツマネジメント	●●●教育相談 ●●●スポーツ科学 ●●●フィットネス・エクササイズ の理論と実際I	●●●介護技術演習
		演習・卒業研究	演習I(A) 演習I(B)	演習・コミュニティアワーII(A) 演習・コミュニティアワーII(B)	演習III(A) 演習III(B)	演習IV(A) 演習IV(B)
資格科目	認定心理士		●●●心理学基礎実験	●●●心理検査法実習		
	精神保健福祉士			●●●精神保健福祉援助演習(専門)I ●●●精神保健福祉援助実習指導I ●●●精神保健福祉援助実習	●●●精神保健福祉援助演習(専門)II ●●●精神保健福祉援助実習指導II	
	スクール(学校)ソーシャルワーカー				●●●スクールソーシャルワーク演習 ●●●スクールソーシャルワーク実習指導 ●●●スクールソーシャルワーク実習	
	ジュニアスポーツ指導員			●●●ジュニアスポーツ指導法II		
スポーツプログラマー				●●●フィットネス・エクササイズ の理論と実際II		

資格取得関連科目 ●●●社会福祉士(国家試験受験資格) ●●●精神保健福祉士(国家試験受験資格) ●●●認定心理士 ●●●スクール(学校)ソーシャルワーカー[SSW] ●●●ジュニアスポーツ指導員(受験資格) ●●●スポーツプログラマー(受験資格) ●●●初級障がい者スポーツ指導員 ※履修者数に制限のある科目もあります。